

目からうろこの内容でした。英語では図がかけないだろうと思いましたが、それもレジュメの図を見て、そんなことはないと理解しました。

目からウロコでした。物事をまず図解して頭を整理する習慣を身につけて、日頃から自分の頭で考える力を養ってまいりたいと思います。

文章が先ではなく、図解が先という考えは新鮮でしたが、非常に納得しました。普段意識が薄くなっていた事柄も、一生懸命に考え、あっという間に時が過ぎました。

自分の中であやふやなこと、説明できないことは図にできないということを痛感しました。今後の生活に取り入れていきたいと思います。脳も活性化しそう！

仕事で使うプレゼン資料を見直してみようと思う。“国民”を図に入れるという考えも改めて必要性を認識できた。

非常に有意義なご講義ありがとうございました。図解で物事を説明できるようになれば、言語を問わず、様々な場面で役立てられることが分かりました。図解が描けなければ理解できてないことを実践をしてみて良く分かりました。

文章の方が論理的だと考えていましたが、図により自らの思考が整理されるとともに、様々なアイデアが出てくることが体験できました。役所では「てにをは」にこだわってきた経験もあることから、今後の業務において活用していきたいと考えております。

他の人が書いたものと比べてみると、考え方、考える道筋の違いが図に現れていて面白いと思いました。図を書くことは考えや物事をまとめるのに有効だと実感しました。図は世界共通で使えるものなので、是非習得したい。

図解の技術を訓練して、今後の仕事に役立てられればと思います。

私自身も法律の読みにくさを感じていたもので、ズバツと言っていたら、またそれに対して頷く同僚の姿をみて、自分だけではなかったと安心した。これから仕事や考えの整理する際利用したい。

興味深かったのは、“図解”が国際的に通用する言語表現法であるという点です。本研修は、将来、海外の主に途上国の税関職員に講義をする職員の養成を目的としているため、講義資料の作成や内容の整理を行うのに有効であると思いました。実習の際には、思考が止まってしまう、自分が苦手であることを自覚したので、改めて勉強したいと思っています。

いろいろな考え方があることが分かり、自分の発想と違うことが参考になった。

今後仕事をしていく上で、この研修を生かし、図解して考えることで、パフォーマンスをあげていこうと思った。